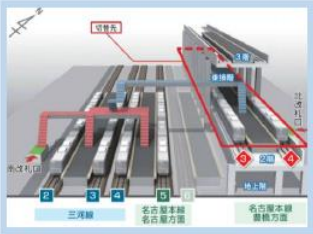
取組の概要や趣旨説明

■インフラとまちづくりの効果的な連携

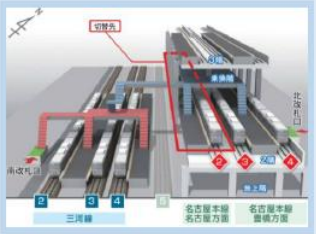
- 「知立駅付近連続立体交差事業」が令和10年度事業完了予定
- 長きに渡るハード整備が次々と形になっていく段階へ

2022(令和４)年度
名古屋本線(豊橋方面行き)
高架線へ切り替え

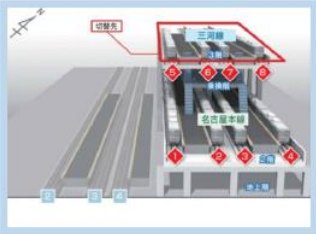


2023(令和５)年度
三河知立駅の
移設開業

2025(令和７)年度
名古屋本線(名古屋方面行き)
高架線へ切り替え



全線切替
2027(令和９)年度
三河線(碧南方面・豊田方面共に)
高架線へ切り替え



事業完了
2028(令和10)年度
側道等の整備

➡インフラ整備にあわせたまちづくりの検討が必要な時期に

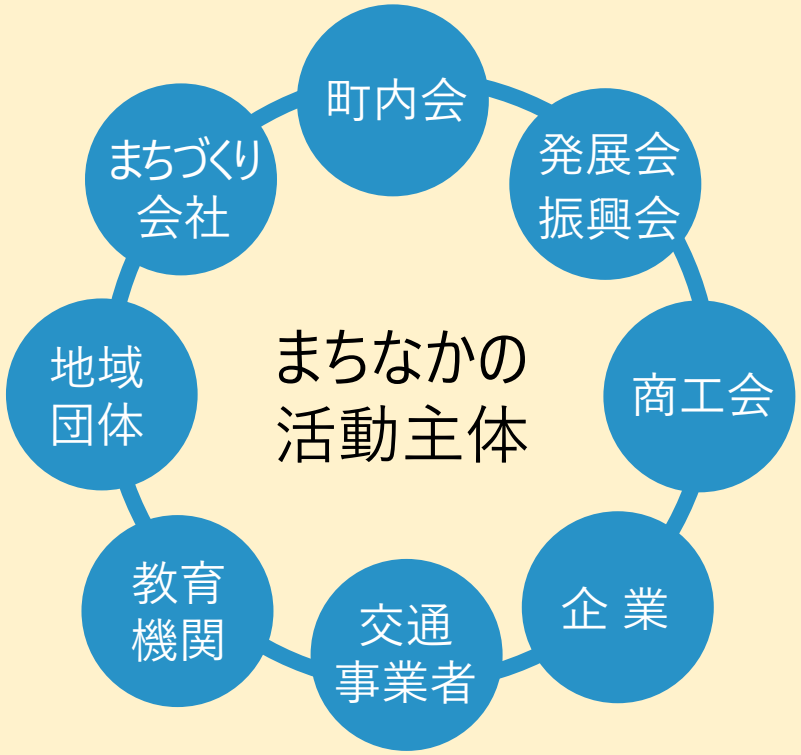
まちづくりは様々な課題を官民連携で解決していく必要がある

主体的に議論や取組を推進する組織の設立

取組の概要や趣旨説明

■エリアプラットフォームの設立

- 産官学民が様々な立場から協力・連携して取組を進める場や基盤づくり
- 目指すべき将来像やその実現に向けた取組の検討・議論



設立の目的

- まちなかの様々な関係者が未来への将来像を共有し、今後より連携・協働を深める
- 市内外に向けて、未来のまちなかの可能性を紹介し、活動に加わってもらう

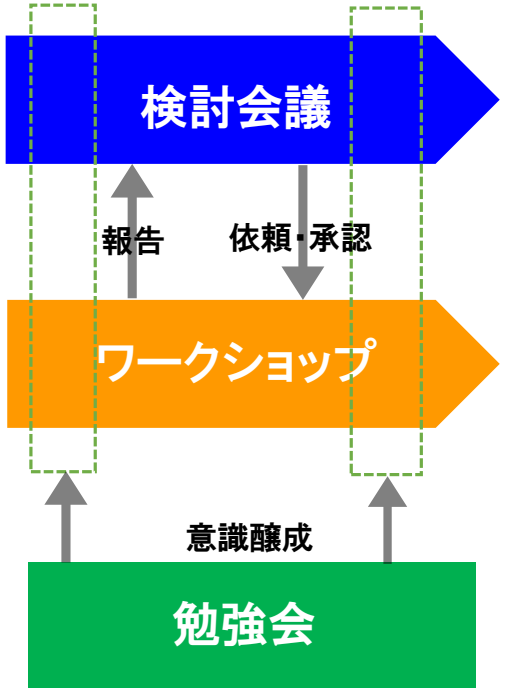
取組の概要や趣旨説明

■組織の設立準備やまちづくりの方針を検討

- 対象者や内容の異なる議論の場を設け、新たに変化し続ける知立駅周辺エリアで期待される取組や未来のまちの姿について広く検討を行う

検討会議 【組織設立準備】	これからのエリアでの円滑かつスピード感ある合意形成や意思決定を行うための組織設計を検討
ワークショップ 【アイデアや意見出し】	これからのまちづくり活動のエンジンとして、地域理解を深め、活動アイデアを生み出す
勉強会 【意識醸成・意識共有】	エリアに関わる関係者全員が一堂に会し、事例等を学びながら取り組みの目的意識や方向性を共有・醸成

▼各会議の位置づけと役割



エリアプラットフォームの今後の取組

■継続的な取り組みの推進

- ハード整備の竣工を見据えた暫定広場活用等の実践的な活動
- 実践と並行して駅周辺エリアの将来像の検討や実現するための活動計画の議論

目指す将来像に向けて、プロジェクトの方向性や取組の方針を定め、誰が、何を、どのように、達成するかを明確にした**未来ビジョン**を作成し、ビジョンを実現するための**自立・自走型システム**の構築を目指します。

	2022	2023	…	2028	…
	設立準備	エリアプラットフォーム設立 未来ビジョン案の作成 暫定広場活用 等			